

平成30年 5月31日

第311号

〔発行〕 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部
支部長 プレス工業株式会社 藤沢工場
編集 藤沢支部広報委員会
<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/fujisawa/index.htm>

支部長就任にあたり



プレス工業株式会社 藤沢工場

浦上 浩和

公益社団法人神奈川労務安全衛生協会藤沢支部会員各事業場の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本年度より支部長を務めることになりましたプレス工業株式会社藤沢工場の浦上と申します。

日頃より支部運営活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

加藤前支部長におかれましては、平成28年度以降2年間、支部活動の推進にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。歴代役員、会員の方々が築き上げてこられた支部をさらに発展させてまいります。

さて、私ども藤沢工場は主にフレーム、アクスル等のトラック用部品を製造しております。操業は今年で57年目となります。

私は入社以来、主に労務、安全衛生業務に携わってまいりました。この経験を生かしながら支部の諸活動に全力で取り組んでまいります。

平成30年度・31年度の支部スローガンは、「働く人の安全と健康が確保できる職場を目指し力強く活動を推進しよう！」です。事業活動の基本となる安全、健康を確保するため、支部活動を推進してまいります。

今年の10月には横浜で25年ぶりに全国産業安全衛生大会が開催されます。この大会は中央労働災害防止協会が主催する国内最大の安全衛生イベントです。地元組織として、大会の周知、

準備、運営に協力してまいります。大会の成功に向け会員の皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

また、今年度は第13次労働災害防止計画の初年度です。向こう5年間にわたる国、事業所、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項が定められました。この労働災害防止計画が目指す「働く方々の一人一人がより良い将来の展望を持ち得るような社会」の実現に貢献できるよう、労働災害の防止、健康保持増進のための諸活動や各講習会の充実、広報誌・ホームページ等による情報提供、啓発活動に取り組んでまいります。加えて、今年度より安全委員会の下部組織として新たに「物流対策委員会」を設け、物流関係の労働災害防止活動を行ってまいります。

藤沢支部の各委員会活動は県内12支部の中でも活発に活動しております。これまで以上に会員の皆様方のご協力と藤沢労働基準監督署並びに協会本部のご指導を賜りながら、支部活動をより充実したものにしていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

結びに会員の皆様方の益々のご発展を祈念申し上げます。支部長就任の挨拶とさせていただきます。

ご安全に。

〔平成30年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会藤沢支部スローガン〕

**働く人の安全と健康が確保できる職場を目指し
力強く活動を推進しよう！**

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
署長 小沼みち子



先日4月1日付けで、藤沢労働基準監督署署長として、着任いたしました小沼みち子と申します。

昭和63年に労働基準監督官となり、30年を経て、署長という職を重く感じているところです。

願いは、一人でも多くの方が、永く、心も身体も健康で働けるといいと思っております。心配や悩みも生きていけばこそ。人に認められ、やさしくされて初めて、個を認めることができ、人にやさしくなれるのかなと思っています。怒鳴り声や大声の絶えない環境では、おそらく、人の心はカサカサになってしまいます。だからと言って、優しくされることに甘えてはいけません。自分自身には、厳しくありたいと思いつつ、甘くなってしまうし、年を経るごとに注意してくれる人もなくなります。幸い、窓口にいますとお叱りの言葉をいただくこともあります。真摯に受け止めなければと思

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
監督課長 青山 浩二



平成30年4月1日付けで藤沢労働基準監督署の監督課長として着任いたしました青山浩二と申します。前任地は同じ湘南地域の平塚労働基準監督署で、安全衛生課長として勤務しておりました。

藤沢のイメージは湘南の中心ということでサザンオールスターズや江ノ島、サーフィン等夏の華やかなイメージがあり、ずっと内陸部で育った私にとっては憧れの地域でありますので、この地で勤務できることは非常に嬉しいです。

さて、今年度は過重労働解消を柱とする働き方改革のさらなる推進のため、労働基準行政として各労働基準監督署における労働時間相談コーナーの設置や長時間労働が疑われる事業場に対する監督指導の強化、また、労働時間法制周知のための集団指導の実施等様々な施策を行う予定としています。

私も、労働者にとって働き甲斐のある安全安心な職場環境の構築に向け、微力ではございますが努力する所存でございますので、なにとぞ協力のごほうじをお願い申し上げます。

います。

ところで、私、去年は、神奈川労働局監督課で過重労働解消対策の一端の業務も行っていました。

監督署で申し上げる過重労働解消対策は、まず、労働時間の適正把握が第一です。管理職も、裁量制適用労働者も健康管理の面から労働時間の把握は必要です。

労働時間の問題だけではないとの思いの方もいらっしゃるかとは思いますが。これからもっと、機械や技術の進歩によって、単純作業は機械が行い、人間の頭脳は今まで以上に速く回転させることが求められ、短い時間でも疲労はもっとたまる環境になるかもしれません。最近では、機械に語りかければ機械が調べてくれます。この先、第13次労働災害防止計画の期間が終了するころにはどのように技術は発展しているのでしょうか。

今以上に職場の休憩時間に笑顔があふれている社内が多くあることを望みます。

ストレスチェック制度の集団的分析は、職場、職場における特性を見出そうとするものです。ぜひ活用していただきたいと思っております。

当監督署では現場の方々の声を丁寧に聞き、やるべきことをしっかりやっていきたいと思っております。

今後とも御理解、御協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

着任のご挨拶

藤沢労働基準監督署
労災課長 多和田かおり



4月1日付けで労災課長に着任した多和田と申します。

課長職は初めてであり頼りない部分が多々あり、皆様にご迷惑をおかけすることがありますがよろしくお願ひいたします。

私は、藤沢労働基準監督署の勤務は2度目になります。1度目は、平成18年から2年間、労災補償係長として勤務しておりました。その後、藤沢市に来ることはなかったので、今年の3月に業務引継ぎのため、久しぶりに藤沢駅を降り、署に向かったところ、立派な市役所が出来上がっていてびっくりしました。

さて、平成30年度は労災保険料率等が改正されておりますので、周知への御協力を賜りたくお願ひ申し上げます。

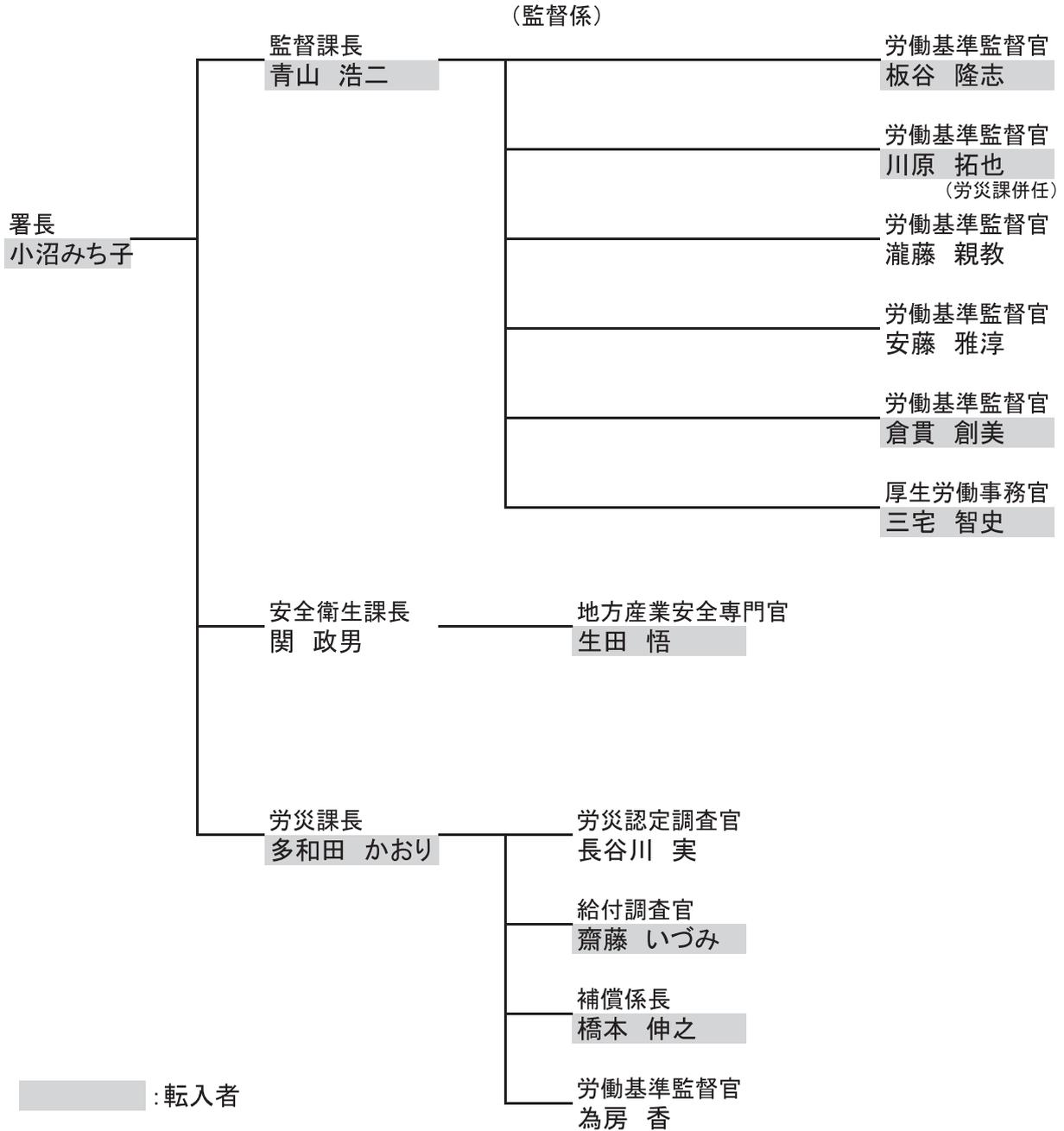
また、電子申請の更なる利用促進について、重ねてお願ひ申し上げます。

短文ではございますが、最後に貴支部の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念して着任の挨拶といたします。

藤沢労働基準監督署からのお知らせ

平成30年4月1日付で当署の組織が下記のとおりになりました。

【藤沢労働基準監督署組織図】



連絡先

藤沢労働基準監督署

〒251-0054 藤沢市朝日町5-1-2
藤沢労働総合庁舎3階
TEL. 0466(23)6753
FAX. 0466(23)4288

第12次労働災害防止推進計画(平成25年度～平成29年度)の推進結果について

藤沢労働基準監督署 安全衛生課

当署管内の全産業における休業4日以上の死傷者数(以下、「死傷者数」という。)は、平成24年598件の15%減少目標(最終目標値508件)に対し、平成29年は567件で確定し、目標を大幅に上回り、残念ながら、目標を達成することができませんでした。

各種労働災害防止の取組を行なった結果、死亡者数は減少しているものの、第三次産業の労働者数の増加や労働力の高齢化もあり、死傷者数は増加したものと思われます。

重点業種別の結果は次の表のとおりとなりました。

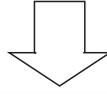
第12次労働災害防止推進計画(平成25年度～平成29年度)の推進結果 (平成30年2月末までの受理件数からの見込) 藤沢労働基準監督署 平成30年4月作成														
業種別	11次防 期間中の 死傷者数	平成24年 死傷者数 (基準年)	12次防 減少目標	第12次労働災害防止推進計画										
				平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		
				目 標 値	確 定 値	目 標 値	確 定 値	目 標 値	確 定 値	目 標 値	確 定 値	目 標 値	確 定 値	
全産業 (対前年増減割合)	2,767	598	15%減少	579	562	560	596	542	528	525	578	508	567	
				-3.2%	-6.0%	-3.2%	+6.0%	-3.2%	-11.4%	-3.2%	+9.5%	-3.2%		
製造業	死亡者数	3	0	10%減少	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
	死傷者数	514	103	15%減少	100	90	97	91	93	92	90	103	88	93
	(食料品)	99	25	15%減少	24	17	23	18	22	14	21	21	20	19
建設業	死亡者数	3	1	20%減少	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0
	死傷者数	464	94	15%減少	91	79	88	72	85	71	83	75	80	60
陸上貨物運送事業	198	34	10%減少	33	33	32	55	32	44	31	60	30	63	
第三次産業	小売業	417	88	20%減少	84	95	80	110	76	86	73	81	70	95
	社会福祉	172	46	10%減少	45	51	44	62	43	52	42	59	41	52
	飲食業	165	39	20%減少	37	46	35	33	34	18	32	39	31	41

※本年度(2018年度)から、第13次労働災害防止計画が始まりました。

死亡者数を2022年までに15%以上減少、休業4日以上の死傷者数を5%以上減少させる計画の目標が設定されました。業種別には、製造業及び建設業が死傷者数を15%以上減少させる、陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設及び飲食店が死傷年千人率で5%以上減少させる計画の目標が設定されました。

詳しくは「第13次労働災害防止計画」で検索し、厚生労働省のホームページをご参照下さい。

定期健康診断の健診項目に変更はありませんが、下記のとおり、取扱いが変更となりましたので、御注意下さい。



労働安全衛生法に基づく 定期健康診断等の診断項目の 取扱いが一部変更になります (平成30年4月から適用)

平成29年8月4日基発0804第4号「定期健康診断等における診断項目の取扱い等について」

診断項目 ※ 診断項目自体に変更はありません。

1	既往歴及び業務歴の調査
2	自覚症状及び他覚症状の有無の検査
3	身長(★)、体重、腹囲(★)、視力及び聴力の検査
4	胸部エックス線検査(★)及び喀痰検査(★)
5	血圧の測定
6	貧血検査(血色素量及び赤血球数)(★)
7	肝機能検査(GOT、GPT、 γ -GTP)(★)
8	血中脂質検査(LDLコレステロール、HDLコレステロール、血清トリグリセライド)(★)
9	血糖検査(★)
10	尿検査(尿中の糖及び蛋白の有無の検査)
11	心電図検査(★)



(★)の項目は、医師の判断により省略が可能となる場合があります。

変更のポイント

- 8. 血中脂質検査について
→ LDLコレステロールの評価方法が示されました。
LDLコレステロールの評価方法として、フリードワルド式によって総コレステロールから求める方法、又はLDLコレステロール直接測定法によることが示されました。
- 9. 血糖検査について
→ 空腹時又は随時血糖の検査を必須とし、HbA1cのみの検査は認められません。
- 10. 尿検査等について
→ 医師が必要と認めた場合には、「血清クレアチニン検査」の追加が望まれます。

平成30年度 定時総会開催される

平成30年 4月25日(水) 於：藤沢商工会議所

神奈川労務安全衛生協会藤沢支部定時総会は71社出席の下、209社の委任状を合わせ支部規約第20条、総会員数の2分の1以上の確保を以って成立し、盛大に開催されました。

来賓に藤沢労働基準監督署より関安全衛生課長をはじめ、協会本部より竹内常務理事を迎え、加藤支部長による開会挨拶を頂いた後、第1号議案から第6号議案まで滞りなく決議承認されました。

続いて「無災害事業場表彰」が行われました。これは平成27年1月1日～平成29年12月31日までの3年間の無災害の達成事業場へ贈るもので、本年度は7事業場が対象となり、内2事業場代表者の出席を賜り、加藤支部長より表彰状が授与されました。

そして、今定時総会をもって退任される加藤支部長と新たに就任される浦上新支部長から、また同じく退任される焼石事務局長、森新事務局長などによりそれぞれご挨拶をいただきました。



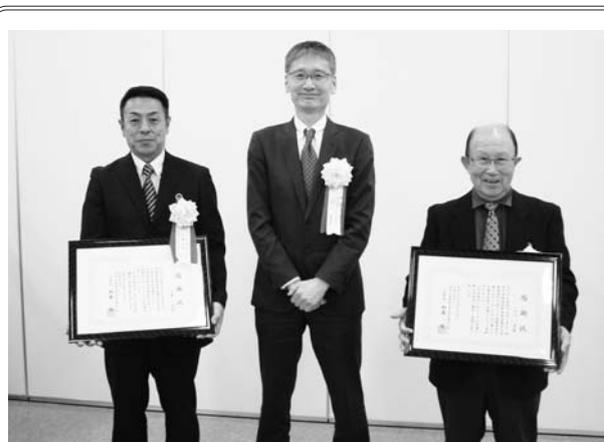
来賓を代表し関安全衛生課長より小沼署長の祝辞を代読いただきました。最近の労働行政動向についてお話があり、働き方改革について根幹は労働者が実情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現を推進していくことであり、そのためには第一に労働時間・時間外・休日労働の管理が適正になされることが求められていること。第二に、長時間労働を抑制する取組については昨年に引き続き企業名の公表制度などの運用も行っていくこと。第三に、第13次労働災害防止計画が始まったが、藤沢管内では、平成30年1月から3ヶ月で既に労働災害による死亡者が1名、死傷者数92件で前年同期対比で13.6%増加しており、目標を早急に明確にし取り組みを進めたいこと。東京五輪開催に向け産業活動も活発化し災害リスクも上昇する中、製造業や建設業は少ない件数ながら災害が



発生すると死亡災害に至りやすい状況で、それに対し小売・飲食店・社会福祉施設などでは転倒災害などの件数が多く課題となっていること。第四に、化学物質の健康障害防止について、藤沢管内でも有機溶剤等化学物質使用事業場は多く、数年かけ各事業場を回る予定であり引き続き化学物質リスクアセスメントを進めてほしいこと。それらの推進の為には一人ひとりの働き方、企業トップの理解が不可欠であること。多岐に及ぶハラスメントの問題などには現場の声を大切に丁寧に、一方では厳正な対処を行っていくことの内容について話されました。

今後も協会の皆様のご協力をお願いしたく、最後に本年10月に横浜で開催される全国産業安全衛生大会の成功と本協会藤沢支部、本日参加の皆様のご健勝を祈念したいと述べられました。

閉会挨拶を畠田新副支部長の辞で本総会を締めくくりました。メルシャン(株) 諸岡



支部功労者表彰(中央、加藤前支部長) ※写真左より
湘南CORUN ENERGY株式会社 須藤 覚
神奈川労務安全衛生協会藤沢支部 小川 勇

新入社員等安全衛生教育を開催！

平成30年4月10日(火) 於：藤沢市民会館小ホール

平成30年の会員各社の新入社員等を対象とした安全衛生教育を藤沢市民会館小ホールにて開催を致しました。今年度は43社187名の方々が受講され、安全衛生に関する重要性や基本的な教育が行なわれました。

鈴野広報委員長の開会挨拶の後、第一部として藤沢労働基準監督署安全衛生課関課長から、労働基準監督署の役割と労働安全衛生法やその他の関係法令についての解説を頂き、労働災害の現状、労働時間の適正な管理について説明を頂きました。

第二部として、神奈川労務安全衛生協会藤沢支部の徳島講師から安全衛生教育について、テキスト・DVDによる説明の他、ご自身の体験談などを交えて、安全・健康・快適に働く為に、職場で実施してほしい安全衛生の基本等、わかりやすい説明をして頂きました。

最後に『ゼロ災でいこうヨシ！』の安全唱和で安全意識を高め、研修を終了致しました。

永田支部長代行による閉会の挨拶後、受講者全員に修了証をお渡しして、閉講となりました。

日産工機(株) 大西



〔当面の支部行事予定〕

全国安全週間湘南地区推進大会	6月8日(金)	場 所：藤沢市民会館小ホール
動力プレス機械の金型調整特別教育	6月9日(土)	場 所：プレス工業株式会社藤沢工場
優良工場見学研修会	6月12日(火)	場 所：メルシャン株式会社藤沢工場 神奈川県総合防災センター 麒麟ビレッジ株式会社湘南工場
有機溶剤業務従事者に対する特別な労働衛生教育	6月15日(金)	場 所：藤沢市建設会館4階大会議室
化学物質リスクアセスメント講習	6月26日(火)	場 所：藤沢市建設会館4階大会議室
職長教育第2回	7月3日(火)～4日(水)	場 所：藤沢市建設会館4階大会議室
アーク溶接等の業務に係る特別教育	7月11日(水)～13日(金)	場 所：神戸製鋼所藤沢事業所
粉じん作業特別教育第1回	7月20日(金)	場 所：藤沢市建設会館4階大会議室
安全衛生推進者養成講習会	7月23日(月)～24日(火)	場 所：藤沢市建設会館4階大会議室

安・健・快 雑感

心境の変化

47歳になり嗜好も昔とは随分変わりましたが、最近心境の変化を感じる出来事がありご紹介します。今春、次女が入学した中学校は、指定教会での日曜礼拝を義務付けており、その付添いで3月下旬から教会に行くようになりました。私の大学時代、退屈にしか感じなかった礼拝が、心地良い有意義な時間と感じたのは正直新鮮な驚きでした。

「(神は) 私たちを耐えられないような試練に遭わせることはなさない」(コリントの信徒の手紙 10章13節より)を聞いた時、心に沁みると共に、言葉の意味を素直に理解できたように思います。

6年半前に畑違いの財務部から工場総務部に異動し、初めて労務担当になった時は、見聞きする法律・専門用語など知らないことばかりでした。着任時、新鮮に感じた業務も自分の知識不足が認識されるにつれ、「この部署で求められ



東京応化工業株式会社 相模事業所
勝海 滋之

る者になれるのか？」悩み、早めに異動希望を出すべきか真剣に考えた事もありました。約2年半前に衛生管理者を拝命し、今でも日々法解釈や関係者調整に奮闘しています。現場は合理的で作業負担の少ない方法を好み、事業主は合法的で経費負担の少ない方法を求めます。そのため自分が法律や制度を正確に理解し、双方が納得いく提言をする事を常に心がけています。最近でこそ担当業務にとってもやり甲斐を感じていますが、先述の説教を聞きながら、「途中で諦めず今の部署を続けてきて本当に良かった」と心の底から思い、改めて神に感謝をしました。

今ではそんな礼拝だけでなく、礼拝後に娘とランチや散歩をしながら、学校での出来事や友達との様子を聞くのが日曜日の楽しみの1つとなっています。

〔新規入会員紹介〕

有限会社平船組

藤沢市石川3 - 26 - 3

総合工事業

〈編集後記〉

「鉄が熱い！」で反応される方が最近増えておりますが、みなさんはどうでしょう？

「鉄」とは鉄道を愛する人達のこと、乗り鉄、撮り鉄、録り鉄、模型鉄などいろいろなジャンルがあります。鉄道各社も新規車両を導入してヒートアップしている状態ですね。私はもっぱら撮り鉄(鉄道の写真撮影)です。今回は4月1日の真岡鉄道(栃木県)編を紹介します。撮影ポイントは桜並木と菜の花と蒸気機関車が撮れる沿線です。朝の8時に現地到着した時点では、500m位の菜の花畑沿線に30名くらいのベテランが場所取りをしており、少しでも菜の花が咲いている場所を探してセットアップ完了。ここから蒸気機関車が走行するまで3時間近くひたすら定期列車を想定撮影して、準備を整えていきます。さすがに30分位前になると、沿道は人で溢れて、お祭り騒ぎになります。中にはあとから来たのに割り込みをしたり、撮影領域に入り込んだりして、ピリピリがピークを迎えた

時に、いよいよ主役の登場です。わずか数十秒に一齐にシャッターを切る音に囲まれながら私も夢中でカメラを構えます。日照条件や風等できれいな煙となることを祈り撮影後の写真を見るとなかなか納得のできるものが撮れません。次回はもっといい画を取りたくなり増々のめりこみます。まだまだ長い道のりになりそうです。

ご安全に。 三菱電機(株)鎌倉 井上

